

埼玉トヨペット Green Brave

2015年5月23日(土)・24日(日)

スーパー耐久シリーズ 2015 第2戦 SUGO スーパー耐久3時間レース スポット SUGO (宮城県村田町)

5月27日(水)

Super
Taikyu

S耐 - 026

RACE REPORT

勝利まであと一步の2位

5月23日～24日、宮城県村田町のスポーツランドSUGO(1周3,704.256m)でスーパー耐久シリーズ2015の第2戦(3時間レース)が行われ、予選4位からスタートした#52埼玉トヨペットGreen Brave(番場 琢/服部尚貴/平沼貴之)は、セーフティーカーが3回入る荒れたレースを安定したチームワークで走り切り2位。2戦連続の表彰台獲得を実現した。

■表彰台圏内の2列目を確保。光る平沼選手

開幕戦ツインリンクもてぎで3位に入り、幸先の良いスタートを切った埼玉トヨペットGreen Brave。第2戦が行われるスポーツランドSUGOは、昨年予選2位を獲得した相性の良いコース。練習走行での感触も上々で、大きな期待を胸に予選に臨んだ。予選日の天候は晴れ。前日までの過ごしやすい天候と比べて明らかに暑い。予選ではまず、Aドライバー・番場 琢選手が2番手となる1分34秒097をマーク。コースの混雑状況を慎重に見極めながらアタックし、練習走行からの好調を維持。続いてBドライバー・服部尚貴選手のアタック。1分34秒278をマークするも、他の86勢やホンダ勢がタイムアップし、6番手にとどまる。予選順位はA、B両ドライバーの合算タイムで決まるため、合算タイム3分08秒375で予選4位。想定外の暑さで昨年のタイム更新とはならなかったが、表彰台を十分狙える2列目につけた。圧巻だったのはCドライバーの平沼貴之選手。1分34秒993をマークし、初めて番場選手のタイムに1秒以内まで迫った。スーパー耐久に参戦して実質まだ8レースの平沼選手のパフォーマンス向上に、チームの雰囲気も明るい。予選後、昨年のリタイヤ原因になったミッションを交換。決勝に向けて万全を期す。

■トップを走行するもブレーキの不調で2位

決勝は平沼選手→服部選手→番場選手というオーダー。スタート直後の混戦を平沼選手で乗り切り、服部、番場両プロドライバーで追いつける作戦だ。13時28分、3時間レースの火蓋が切って落とされた。接近戦を避けアウト側から1コーナーに入っていく平沼選手。2周目の1コーナーで#58インテグラにパスされるが、その後は後続をきっちり抑え、5番手のまま周回を続ける。ところが9周目、コース清掃のためセーフティーカーが入る。素早くピットインし、平沼選手から服部選手に交代。追い上げを開始する。毎周のように順位を上げる鬼神の走りを見せる服部選手。ライバルのピットインもあり、26周目には3番手まで順位を回復。先行車より速いペースで走り続けるが、アクシデントにより、またしてもセーフティーカーが入る。迷うことなくピットインを指示するチーム。服部選手から番場選手に交代し、残り約1時間45分を番場選手に託す。その後も順調に追い上げ、49周目時点でトップに。初勝利への期待が高まるが、後方から#13 ENDLESS・ADVAN・86がひたひたと忍び寄る。簡単に接近を許さない番場選手であったが、ABSのトラブルが発生し、徐々に#1386に詰め寄せられる。82周目、ついに抜かれ2番手に。3回目のセーフティーカーが入り、再スタート直後に番場選手が執念の追い抜きを試みるが、抜くには至らず。トップから約19秒遅れの2位でチェッカーフラッグを受けた。

■VOICE FROM DRIVERS&TEAM PRINCIPAL

セーフティーカーが抜けた直後に仕掛けたのですが、コースアウトしてしまいました。体力もタイヤも問題なく、ABSのトラブルがなければ勝てたので悔しいのですが、これもレース。強力な3人のドライバーで力を合わせ、次戦では表彰台の真ん中を狙います。



(番場 琢選手)

クルマのバランスも良く、コンスタントなペースで走れたので、決勝は思ったより楽でした。暑さもそれほどではなく、涼しかったです。ここまでの2レース、十分戦えているので、まずは1勝し、後半はチャンピオンに向けてやるべきことをやっていきたいですね。



(服部尚貴選手)

スタートドライバーの役割をきちんと果たし、ライバルと競うことができました。予想通りセーフティーカーが入ったので、事前の打ち合わせ通りすぐにピットに入りました。作戦もはまりましたね。昨年リタイヤした屈辱を晴らすことができ良かったです。



(平沼貴之選手)

ABSのトラブルが発生したのですが、完走第一を念頭に番場選手をはじめ、スタッフ全員が頑張ってくれました。2位に入りポイントも獲れたので、今後につながります。次の富士は8時間の長丁場なので、しっかり走り切れるように準備したいと思います。



(岩田勝俊チーム代表)



#52 埼玉トヨペット Green Brave
(番場 琢/服部尚貴/平沼貴之)
決勝: 2位(105周、3時間02分19秒872)
予選: 4位(合算タイム3分08秒375)



ST-4クラス決勝結果

- 1位: ENDLESS・ADVAN・86 (TOYOTA86)
- 2位: 埼玉トヨペット
Green Brave (TOYOTA86)
- 3位: 孚海国際×SPOON S2000
(ホンダ S2000)

天候: 晴れ 路面: ドライ 出走: 19台